

美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称				実施主体			
美原区家庭学習推進事業				美原区役所企画総務課			
事業目的		事業効果		活動指標	R3	R4	R5
区内小中学校における自主学習ノート活用の取組を支援し、児童・生徒の家庭における学習習慣の定着を図り、自律的に学ぶ力の育成をめざす。		ノートを全員に配付することで、学校として統一した方針により、児童・生徒への指導を行い、家庭学習習慣を定着させる。また、区内小中学校全校で取り組むことで「つながる教育」の推進に資する。		ノートの配付児童・生徒数	3,095人	3,005人	2,917人
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
◎	美原区教育・健全育成会議提言に基づく事業である。	△	家庭での学習習慣を定着させるためには、児童生徒への指導だけでなく、保護者の理解と協力が欠かせず、家庭の教育力向上を目指す継続的な取組となっている。	○	各学校ではそれぞれ児童生徒の自主学習ノートの取組意欲を高めるため、校内で見本となるノートを掲示し、自立的な学習を促進することができている。	○	区内小中学校全体で取り組むことで、ノートを一括購入することが可能となり、費用を抑えることができた。
⑤自立発展性		総合評価					
△	区としての課題をふまえ、児童・生徒が家庭学習に取り組めるよう、区の支援策としてノートの配布を行っているものである。家庭での学習習慣が定着すれば、学校と家庭が連携した自立的な取組となることが期待できる。	◎	「第3期未来をつくる堺教育プラン」においても学校・家庭・地域の連携による教育活動の充実が求められているが、美原区においては本事業により、区内の全小中学校が自主学習ノートの指導に積極的に取り組む契機となっている。曜日を決めて自主学習の課題を出したり、見本となるノートを校内に掲示するなど、それぞれの学校において児童生徒への指導を行っており、個人差はあるが、全体としては家庭学習習慣の定着が進んでいる。				
今後の方向性(課題、改善提案等)							
拡充 継続 見直し 廃止	自主学習ノートを使った家庭学習習慣定着に向けて、各学校では学校として統一した取組をそれぞれ進めているが、各学校が引き続き取組を継続することにより、子どもたちが自主的に家庭学習に取り組むことができるよう、区として支援していく。						